



段ボール工芸家
島 英雄さん

福岡県筑後市在住。これまで、D51、C62 を、原寸大段ボール SL として制作。全国各地で展示、公開しています



鉄道博物館（さいたま市）に展示されている日本の 1 号機関車



当時の島原鉄道社長の植木元太郎氏が別れを惜しみ、車体に取り付けた「惜別感無量」のプレート

▶問い合わせ先
島原ふるさと創生本部
(☎ 62-8012)

島原鉄道を走った 1 号機関車 原寸大・段ボール SL 展示

～原寸大・段ボール SL～ 「日本の 1 号機関車」展

▶展示期間 11月24日(土)～12月2日(日)
10:00～16:00

※休館日 11月26日(月)を除く

※11月24日・25日は「島原ふるさと産業まつり」同時開催

▶展示会場 島原復興アリーナ ホワイエ

島原鉄道を走った「日本の 1 号機関車」が、段ボール工芸家の島英雄さんの手によって、原寸大・段ボール製で復活。これに合わせて、本市で全国初公開します。島原の文明開化を支えた「島原鉄道の 1 号機関車」をぜひ会場でご覧ください。

講演会「先人より受け継いだ“島原の宝” 島鉄を島原の未来に活用しよう」

鉄道雑誌編集者として活躍する上野氏を講師に迎え、島原鉄道と島原の活性化について考えます。

▶と き 12月7日(金) 19:00～20:00

▶ところ 森岳公民館 大ホール

▶講 師 上野 弘介氏(鉄道雑誌編集者)

「1号機関車」

明治5年に新橋～横浜間を日本で初めての機関車が走りしました。イギリスから輸入した 1 号機関車です。そして、その車両は明治44年、島原鉄道開業 1 号機関車として走り、大正、昭和と島原半島で活躍していました。

昭和5年に国へ譲り渡すこととなり、「惜別感無量」のプレートを付けて見送りました。この 1 号機関車は国の重要文化財に指定されており、埼玉県さいたま市にある鉄道博物館で展示されています。この歴史的なストーリーを生かして、島原鉄道の存続と 2022 年の長崎新幹線の開業へ継いでいこうと思います。そして、若い世代や多くの市民皆さんの夢と希望を継いでいきたいです。

市長コラム 古川隆三郎